

2年生授業シラバス

教育課程表 1

(令和4年度入学生)

共通教科に関する科目 2

専門科目に関する科目 10

(情報)

情報科2年 (令和4年度入学生)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
現代の 国語	公共	数学Ⅱ						物理基礎	体育	保健	英語コミュニ ケーションⅡ	課題研究	情報テクノ ロジー	情報システムのプログラ ミング	情報デザイ ン	情報実習				HR									
								生物基礎						コンテンツの制作と発信															

現代の国語

教科	国語	単位数	2	学科・学年	情報科 2年生
使用教科書	新編現代の国語（数研出版）				
副教材等	常用漢字の1・2トライ（浜島書店） 国語常識ベーシック（数研出版）				

◇ 科目の目標 ◇

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の意図をつかむ ・文章の展開を把握する ・対比を読み取る 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。 ・論の展開を整理して、本文の要点をつかむ。 ・二つの文化の比較を通じて、筆者の思考をたどる。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・書き手の考えを比較する ・根拠を読み取る ・社会の中の文章 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を読み取る。 ・本文の結論を踏まえて、「差」が持つ意味を考察する。 ・説得力のある企画書を書く方法を知る

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

国語は、皆さんが小学校からずっと学んできたなじみの深い教科だと思います。中学校や高校1年生で学んだ内容を踏まえて、さらに継続して学習していきます。さまざまな文章を読み味わい、理解を深めましょう。また、自分の意見を発表したり、他人の意見を聞き取ったりする力を身に付けましょう。

教科	公共	単位数	2	学科・学年	2年
使用教科書	高等学校『公共』（教育図書）				
副教材等	高等学校『公共』ワークノート（教育図書）				

◇ 科目の目標 ◇

人間と社会の在り方についての見方・考え方を養い、現代の諸課題を追究する主体的な活動を通して、平和で民主的な国家及び社会をつくる方法をともに考え、自立した主体（大人）となるための資質・能力を身に付ける。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 公共の扉 1 公共と人 2 功利主義と義務論 3 公共と基本原理 第2章 現代社会の諸課題 1 法 2 政治 選挙と政治参加 ・ 公正な世論の形成 国会と内閣 ・ 地方自治 国家主権と領土問題 ・ 安全保障と防衛 21世紀の国際情勢 ・ 国際社会と日本	・自分が公共的な存在であるということ、社会に参画する自立した主体（大人）となるためには、まず、対話が重要であるということ を、自分の体験を踏まえて考察し表現する。 ・現実社会で起きている様々な人権問題や差別問題について、その解決方法を考察し表現する。 ・様々な法が自分の生活にどのように関係しているか、司法制度を真に国民の権利を守るためのものとするために何ができるかを事実に基づいて考察し表現する。 ・民主的政治体制を構築するために、自分にできることを事実に基づいて考察し表現する。 ・領土・安全保障問題等について、事実に基づいて考察し、自分の考えを表現する。
	後期 3 経済 職業選択 ・ 雇用と労働 労働者の権利 ・ 財政の役割 租税の仕組みと国債 少子化と社会保障 市場経済の役割と限界 金融の働き ・ 日本銀行と金融政策 グローバル化と経済統合 格差是正と多文化主義 第3章 持続可能な社会へ	・雇用と労働の現状と問題、財政の役割と租税の仕組みについて、まもなく社会人になることを自覚して、考察し表現する。 ・少子化と社会保障問題、市場経済の限界、金融の働きと政策について、まもなく社会人になることを自覚して、考察し表現する。 ・グローバル化、格差是正、多文化主義について、まもなく社会人になることを自覚して、考察し表現する。 ・SDGsについて基本的知識をもち、自分の主体的な行動がその実現につながることを考察し表現する。 ・より良い地域社会を構築するために、具体的にどのような行動が有効かを考察し、自分の考えを表現する。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、態度、関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) プリント・ワークノートの記載内容

プリントに授業内容を適切にまとめているか、プリントをしっかりとファイリングしているかなどを評価する。

(3) 提出物

課題提出物の取組、内容から評価する。

(4) 定期考査

学習内容に即した問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分が大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

平和的で民主的な社会をつくるために何が必要なのか、みんなで考えていきましょう。そのためには、普段から、新聞やニュース、テレビのドキュメンタリー番組や教養番組に多く接し、見聞きしたことについて友人や家族といっぱい話して、世の中に対するアンテナを広げましょう。それはきっと楽しいことですよ。

数学Ⅱ

教科	数学	単位数	4	学科・学年	情報科 2年生
使用教科書	改訂版 最新 数学Ⅱ				
副教材等	3 ROUND 数学Ⅱ+B				

◇ 科目の目標 ◇

式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、関数及び微分積分の考えについて理解し、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすと共に、それらを活用する態度を養います。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式 第4章 三角関数	<ul style="list-style-type: none"> ・「式と証明・複素数と方程式」では、数の範囲を複素数まで拡張して方程式を解くことができるようにします。 ・「図形と方程式」では、座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質を考察します。 ・「三角関数」について学び、関数についての理解を深めます。
後期	第5章 指数関数と対数関数 第6章 微分法と積分法	<ul style="list-style-type: none"> ・「指数関数と対数関数」について学び、関数についての理解を深めます。 ・「微分と積分」では、微分や積分を用いて、関数の値の変化を調べることや面積を求めることを学びます。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

高校1年生のときに習った数学ⅠAの内容をより一層深く学んでいきます。さまざまな問題を考えて解いていき、理解を深めましょう。また、自分の考えをもち、他人と教え合いを大切にして数学的に考察し処理する能力を伸ばすと共に、それらを活用する態度を身に付けましょう。

生物基礎

教科	理科	単位数	2	学科・学年	情報科・2学年
使用教科書	高校生物基礎（実教出版株式会社）				
副教材等	アクセスノート生物基礎				

◇ 科目の目標 ◇

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容	
前期	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生物とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の多様性と共通性の視点を身に付け、生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造とはたらきを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解します。 ・生物と遺伝子について、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解し、DNAの情報に基づいてタンパク質が合成される過程を学びます。 	
	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質の合成		
	後期		第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫
			第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち 2節 植生とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと植生
第3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫		<ul style="list-style-type: none"> ・生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識します。 ・ヒトには異物を排除する防御機構がそなわっており、それにかかわる細胞や器官を学びます。 ・生態系の成り立ちや、生態系内の生物どうしの関わり合いを学び、バイオームの分布を植生の遷移と関連づけて理解します。 ・森林保全の意義と具体的なとり組みについて学び、生態系のバランスを保つための活動を理解することで、自然環境の保全に寄与する態度を育てます。 	
第4章 生物の多様性と生態系 1節 生態系とその成り立ち 2節 植生とバイオーム 3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと植生			

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもあります。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断します。評価の観点のうち、特に【主体的に学習に取り組む態度】の項目を評価します。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価します。

(3) 観察・実験等

観察・実験等を行い、レポートを書きます。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価します。評価の観点のうち、【思考・判断・表現】に関する配分が大きくなります。

(4) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価します。

(5) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題します。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分が大きくなります。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・身近にある自然や科学的な話題（新聞、雑誌、ニュースなど）に関心をもち、考えてみましょう。
- ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもちましょう。
- ・学んだことを記録し、発表する方法を身に付けましょう。

物理基礎

教科	理科	単位数	2	学科・学年	情報科
使用教科書	物基 704 高校物理基礎 実教出版				
副教材等	エブリィノート 実教出版 ・ サブノート 実教出版				

◇ 科目の目標 ◇

物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物体の運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	1章 物体の運動 1節 運動の表し方 2節 力と運動の法則	・運動の表し方を日常生活や社会と関連付けながら、物理量の測定と扱い方、運動の表し方、力と加速度についての概念や原理・法則などを学びます。 【前期中間考査】 ・力学的エネルギーを日常生活や社会と関連付けながら、運動エネルギーと位置エネルギー、力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを学びます。 【前期末考査】
	2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー	
後期	2節 熱とエネルギー	・熱を日常生活や社会と関連付けながら、熱と温度、熱の利用についての基本的な概念や原理・法則などを学びます。 ・波を日常生活や社会と関連付けながら、波の性質、音と振動についての基本的な概念や原理・法則などを学びます。【後期中間考査】
	3章 波 1節 波の性質 2節 音と振動	
	4章 電気 1節 物質と電流 2節 磁場と電流	・電気を日常生活や社会と関連付けながら、物質と電気抵抗、電気の利用についての概念や原理・法則などを学びます。 ・エネルギーとその利用についての基本的な概念や原理・法則などを学びます。 ・物理学が拓く世界についての基本的な概念や原理・法則など日常生活や社会と関連付けながら学びます。 【学年末考査】
	5章 人間と物理 1節 エネルギーとその利用	
	終章 物理学が拓く世界	

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業や実験に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノート・副教材への記載内容

宿題・課題などの記述、授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分が大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

様々な現象を、科学の視点でとらえて原理を解明していきます。物理学の成果が様々な分野で利用され、未来を築く新しい科学技術の基盤となっています。今、世界は100年に一度の技術的転換期です。知識として覚えるのではなく、未知の現象や、現代社会が抱える課題を解明・解決するために、学んだ原理や法則を用いて論理的に思考する習慣を身に付けましょう。

体育

教科	体育	単位数	2	学科・学年	情報科2年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート				

◇ 科目の目標 ◇

- ・生涯にわたり運動に親しむことができるようにします。
- ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。
- ・公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	体育の授業について	ソフトボール、バスケットボール（男子）
	体づくり運動	バドミントン、ダンス（女子）
	集団行動	ダンス、サッカー（女子）
	体育理論	体育理論
後期	体づくり運動	ダンス（男子）
	集団行動	ソフトボール（女子）
	体育理論	バドミントン（女子）
	体育理論	体育理論

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・体育という授業は将来の皆さんの健康に大きく役に立つ教科です。
- ・身体を動かすことが好きな子、苦手な子いると思いますが、積極的に活動に参加してくれることを期待しています。

保健

教科	保健体育	単位数	1	学科・学年	情報2年生
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）				

◇ 科目の目標 ◇

- ・個人及び社会生活における健康安全について理解を深めます。
- ・生涯を通して自らの「身体的・精神的健康管理」を考え、改善していくための資質や能力を育成します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 ・妊娠、出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における体の発達や行動面・心理面の特徴を理解します。 ・家族計画の意義と避妊法及び人工妊娠中絶の心身に及ぼす影響を理解します。 ・高齢者の健康課題や総合的対策について理解します。 ・医療保険の仕組みを理解します。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 ・環境衛生活動のしくみと働き ・食品衛生活動のしくみと働き 	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の原因、健康への影響を理解します。 ・環境汚染防止について理解します。 ・食品の安全と私たちの役割について理解します。 ・働くことと健康の相互影響について理解します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・保健の授業は日々の生活に大きくかかわっている内容です。
- ・皆さんの知識が増えるのはもちろん、他の教科とつながりがある教科なので積極的に参加してください。

英語コミュニケーションⅡ

教科	外国語	単位数	2	学科・学年	情報科・2学年
使用教科書	All Aboard! English Communication II (東京書籍)				
副教材等	All Aboard! English Communication IIワークブック (東京書籍)				

◇ 科目の目標 ◇

<p>日常的・社会的な話題について、事前に準備したり、参考資料を活用したりすれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。
--

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	Pre-Lesson My Plans for This Year Lesson 1 A Colorful Island Lesson 2 With the Beatles Lesson 3 Wild Men Lesson 4 Little Hero etc.	世界各地の観光名所や世代を超えて受け継がれている音楽、各国の伝統的な行事について理解を深め、調べ学習を行う。身近な観光名所や音楽について英語で表現する。
後期	Let's Listen 2 Lesson 5 Special Makeup in Kabuki Reading 1 Mujina Lesson 6 Seeds for Future Generations etc.	世界自然遺産や歌舞伎メイク、古典物語や異色の取り組みについて読解し、理解を深める。調べ学習をし、自分でやってみたい活動や身近な伝統文化について英語で表現する。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

<p>●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。</p> <p>(1)授業への取り組み 授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。</p> <p>(2)Performance Test への取り組み 授業内容を基に、自分の意見や考えを表現しているかなどを評価する。</p> <p>(3)教科書・問題集の問題 各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。</p> <p>(4)中間・定期考査 学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。</p>

◇ 担当者からのメッセージ ◇

<p>1年生では、世界各地の名所や歴史的な偉人、日本の興味深い職業や文化、そして最新テクノロジーと幅広いトピックについて学習しました。今年度は、その知識さらに深く幅広いテーマについて学びます。自分の考えや調べたことを英語で発表する場面も増えます。グループやペアと協力して、英語で考えや意見をわかりやすく表現することを目指しましょう！</p>
--

課題研究

教科	情報	単位数	2	学科・学年	情報科・2年
使用教科書	なし				
副教材等	配色アイデア手帖めくって見つける新しいデザインの本 [完全保存版] (SB Creative)				

◇ 科目の目標 ◇

情報に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	問題解決学習① インフォメーションの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションにおける問題を自ら発見し、情報デザインを通して解決する課題を制作します。 ・地域の方々と連携してそれぞれの問題について情報を活用したプレゼンテーションを通して解決します。 ・グループで協力して、効率的に問題を解決して作品制作を行います。
	問題解決学習② 地域の問題解決	
	問題解決学習③ 共同学習	
後期	問題解決学習④ パッケージデザイン 次年度研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザインに必要な色彩感覚や見る人の興味関心を引くデザイン力を習得します。 ・次年度の課題研究作品のテーマについて考えます。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノート・レポートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 課題制作

各課題への取り組み、制作した作品内容から評価する。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

これからの社会では、自ら課題発見し解決する能力が必要不可欠です。今後情報産業に携わる者として、実践的な授業内容を通して、その能力を身に付けていきましょう。

そして、予測困難な未来を、自ら道を切り開いて社会に貢献できる人材になりましょう。

情報テクノロジー

教科	情報	単位数	2	学科・学年	情報・2年生
使用教科書	情報テクノロジー（実教出版）				
副教材等	かんたん合格ITパスポート過去問題集（インプレス）				

◇ 科目の目標 ◇

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、情報社会を支える情報テクノロジーの活用に必要な資質・能力を育成することを目指します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェアの種類と構成や周辺装置、コンピュータの内部処理の方法について学習します。 規格を標準化することの必要性や、各標準化団体の役割について学習します。
後期	ソフトウェア 情報システム	<ul style="list-style-type: none"> オペレーティングシステムの仕組みや、役割と特性について学習します。 各種アプリケーションソフトウェアの種類と機能について学習します。 ユーザインタフェースの種類と特徴について学習し、適切なユーザインタフェースについて考察します。 情報セキュリティのための手法や不正アクセス対策について学習します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み
授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容
授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題
各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査
学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- コンピュータの基本的な構成要素やデジタル回路の基礎的な仕組み、基本ソフトウェアの働きや情報セキュリティ対策などについて、具体的に学習します。
- IT（情報技術）を正しく理解し、業務に効果的にITを活用することのできる“IT力”を身に付け、将来の進路選択や情報社会を支える仕事に活用していくことを期待しています。

コンテンツの制作と発信

教科	情報	単位数	4	学科・学年	情報科・2年
使用教科書	入門CGデザイン 改訂新版 (CG-ARTS協会)				
副教材等	配色アイデア手帖めくって見つける新しいデザインの本 [完全保存版] (SB Creative) 一気にビギナー卒業! 動画でわかる After Effects 教室 (技術評論社) Live 2Dの教科書 改訂版 静止画イラストからつくる本格アニメーション (MdN出版)				

◇ 科目の目標 ◇

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、コンテンツの制作と発信に必要な資質・能力を身に付ける。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	コンテンツの役割と影響 メディアの種類と特性、コンテンツの保護 静止画による表現、静止画の編集 静止画のコンテンツ制作	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツが果たす役割と影響について考え、どのメディアを適切に選定し、コンテンツを保護するまでの流れについて学びます。 ・企画の立案から構図・カット割りなどの表現技法・撮影技法・静止画の編集技法について学び、作品制作を通して内容を適切に表現する技術について学びます。
	動画による表現、動画の編集 動画のコンテンツ制作	<ul style="list-style-type: none"> ・企画の立案からシナリオ・絵コンテなどの表現技法・撮影技法・動画の編集技法について学び、作品制作を通して内容を適切に表現する技術について学びます。
後期	音・音声による表現、音・音声の編集 音・音声のコンテンツ制作	<ul style="list-style-type: none"> ・ナレーション、効果音、音楽などのほか、静止画の組み合わせによる表現、動画作品における演出効果や同期効果などの音・音声の編集技法について学び、作品制作を通して内容を適切に表現する技術について学びます。
	コンテンツの発信の手法 コンテンツの統合と編集 コンテンツの発信と評価	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な方法によるコンテンツの発信に関する知識・技術を学び、それらを統合・編集し、それらを発信し、課題を発見し主体的に改善していく学習を行います。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(3)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノート・レポートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 課題制作

各課題への取り組み、制作した作品内容から評価する。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

2年生で学ぶコンテンツの制作と発信はアニメーション制作(静止画に音をあわせて動画にする)が中心となります。1年生で学んだイラスト表現基礎の力を発展的に活用し、それらを作品として表現・情報発信していくことが大切になります。自らが学習に対して楽しみながら積極的に作品作りに取り組んでもらいたいと思います。

情報システムのプログラミング

教科	情報システムのプログラミング	単位数	4	学科・学年	情報科・2年
使用教科書	情報システムのプログラミング (東京電機大学出版局)				
副教材等	新・明解C言語 入門編 第2版 (SB Creative) スッキリわかるPython入門 (インプレス)				

◇ 科目の目標 ◇

プログラムの作成に必要な考え方や、代表的なアルゴリズムとデータ構造に関する知識と技術を習得し、実際に活用する能力と態度を身に付けます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	序章 情報システムとは 第1章 情報システム的设计 第2章 データ構造とアルゴリズム	・アルゴリズムやプログラムの基礎を学習し、プログラムを作成できるようにします。 ・サブルーチンや関数、グローバル変数やローカル変数などを正しく使えるようにします。
後期	第3章 プログラミング 第4章 情報システムの開発管理と運用・保守	・機械制御処理やグラフィック処理などの実際的な応用プログラムによりプログラムの開発方法を体験的に学習します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

・アルゴリズムは、「ある処理・問題を効率的に解く手順」を意味しています。この科目の学習を通して、コンピュータにアルゴリズムに基づいた動作を行わせる技術について学びましょう。

・プログラミングの学習方法は、多くのプログラムに触れることが重要です。「何故この方法で目的が達成できているのか」を理解するために、多くのプログラムを読んで、実際にプログラムを作成していきましょう。

情報デザイン

教科	情報	単位数	2	学科・学年	情報・2年生
使用教科書	情報デザイン (実教出版)				
副教材等	配色アイデア手帖めくって見つける新しいデザインの本 (SB Creative) 色彩検定公式テキスト 2級編 (公益社団法人色彩検定協会) 新配色カード 199a (日本色研事業 (株) 制作) 色彩検定過去問題集 2級 (公益社団法人色彩検定協会)				

◇ 科目の目標 ◇

情報に関する科学的な見方・考え方を働かした学習活動を通して、デザインとは何かを学び、アーティストの作品との違い、より良いデザインはどうあるべきなのか、コンピュータによるデザインを学習します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 デザイン・情報・造形の基礎 第1節 デザインって何だろう 第2節 何をデザインするのか	・身近なデザインを例に挙げながら、コンピュータによるデザインについて、基礎的・基本的な知識と技術を身に付けます。 ・デザインを表現することの必要性や造形要素の役割について学習します。
	第2章 デザインと表現 第1節 デザインの造形要素 第2節 観察と表現 第3節 造形要素の構成	
	第3章 デザインの実際 第1節 デザインの検討 第2節 デザインの活用 総合演習 ・情報の理解を助けるデザイン ・ショップをデザインする ・空想デザイン会社	
後期		・デザインの良い点や悪い点などを比較し、上質なデザインを創造して、応用する能力と態度を身に付けます。 ・実際に使用されているデザインを活用しながら現代に適應できるデザインを考える学習をします。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 課題制作

各課題へ取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

・身近にあるデザインを参考にしながら、どのようにすると情報を伝えやすいデザインになるのか学習します。
 ・「情報デザイン」という科目の特性から、情報科の生徒として身に付けなければならない基本的な知識・技術を学習します。

情報実習

教科	情報	単位数	4	学科・学年	情報科・2年
使用教科書	入門CGデザイン 改訂新版				
副教材等	配色アイデア手帖めくって見つける新しいデザインの本 [完全保存版] (SB Creative)				

◇ 科目の目標 ◇

1～3年全てに位置づけられている情報分野について、実際の作業を通じて総合的に習得するための科目です。プログラム、ホームページ、3DCG編集やプロダクデザインなどの仕組みについて実際にコンピュータ等を操作しながら学びます。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
4月	アプリ開発入門	・アプリ開発ソフトの基本的な操作を修得し、課題を制作するための基本操作を身に付けます。
	3次元CG	・3次元CGソフトの基本的な操作を修得し、モデリングの作成を行います。
	DTM実習	・DTMソフトの基本的な操作を修得し、音楽の作成を行います。
5月	I o Tプログラミング応用	・I o T機器の理論やプログラミングを修得し、I o T機器・ロボットの操作を行います。
	プロダクトデザイン	・プロダクトデザインの原理・理論・操作方法を修得し、実際にモノを設計します。
	問題解決型実習	・問題解決の原理・理論に関する基本的な知識を修得し、I o T機器の使い方を学びます。
3月	HTML基礎	・ソフトウェアの使い方を修得し、ホームページを通じて他者に効果的に伝わるコンテンツを制作します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(3)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノート・レポートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 課題制作

各課題への取り組み、制作した作品内容から評価する。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

実習は少人数方式で行い、1年間でローテーションします。1パートあたりの人数が少ないため、授業中に分からないことがある場合はそのままにせず、気軽に質問してください。また、課題解決能力を身に付けるため、自力で調べて解決する力も身に付けましょう。